

# 国土交通省における 温暖化対策技術の 研究開発への取り組み

総合科学技術会議 重点分野別推進戦略専門調査会  
環境研究開発推進PT 第1回温暖化対策技術調査検討WG会合

平成17年6月22日(水)  
国土交通省

# 1. 環境問題に関する 研究開発の基本的な考え方

## ● 国土交通省の環境政策に関する基本認識

- 社会資本整備や交通政策等における環境の保全と創出の重要性
- 環境基本計画の目指す持続可能な社会の実現に向けた政策の推進  
循環型社会の構築、地球温暖化対策、自然環境の再生、大気汚染問題等への対応

## 「国土交通技術会議」における提言

- 課題解決型の技術開発を通じて、国民のくらしに還元する

### 環境負荷の小さい地域社会を形成するための技術

資源・エネルギー循環、自然資源の有効活用

環境低負荷型の都市・交通・輸送

### 自然環境・都市環境を再生するための技術

水・循環の健全化、生態系回復

大気・土壌・水質・海洋汚染防止

## 2. 温暖化対策技術に関する研究開発

### 【主な研究開発の例】

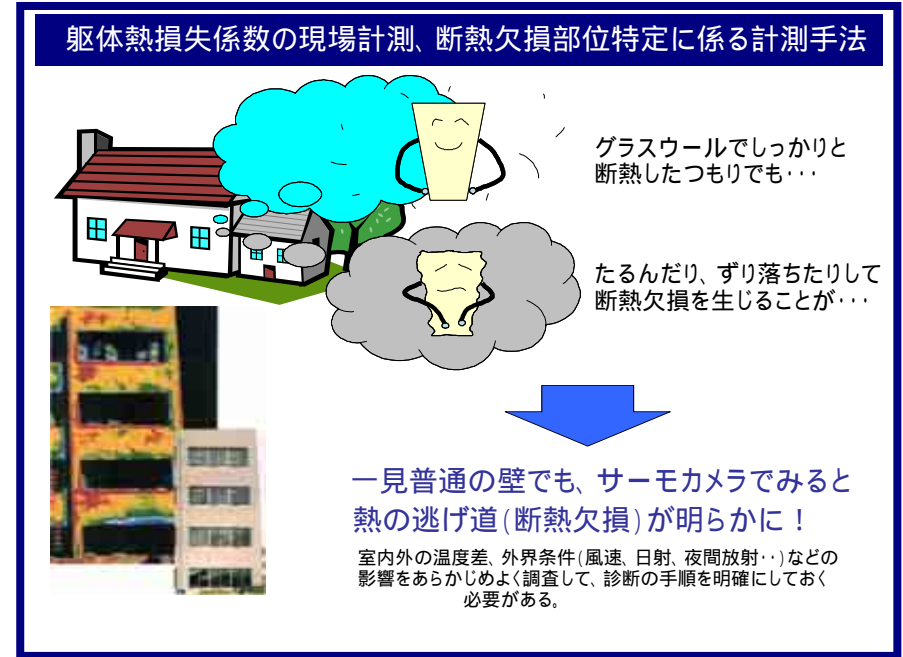
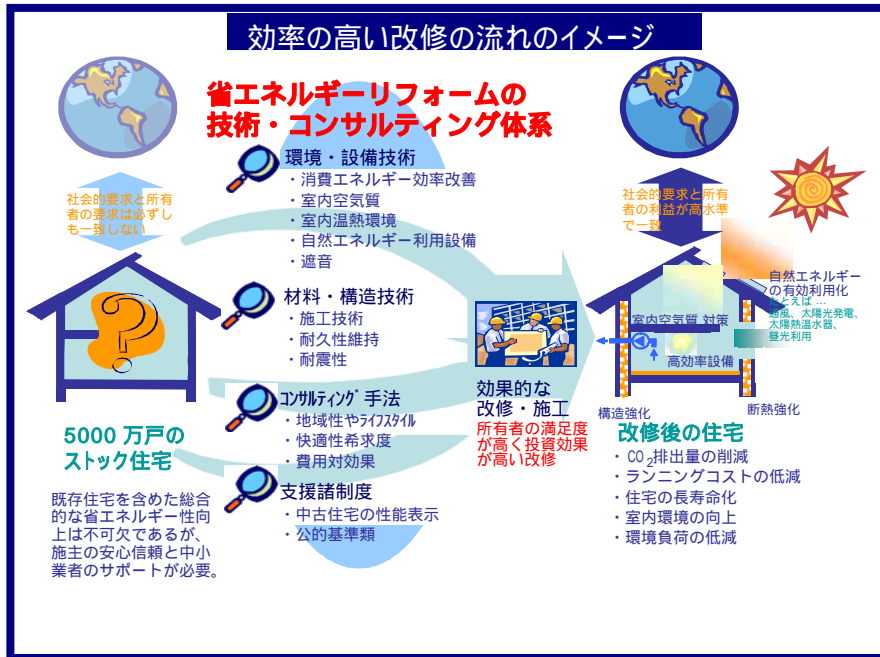
- (1) 持続可能な社会構築を目指した建築性能評価・対策技術の開発
  - (2) 既存住宅の省エネルギー性能向上支援技術に関する研究
  - (3) 温暖化対策に資するエネルギー地域自立型実証研究
  - (4) 二酸化炭素排出抑制のための新エネルギーシステムならびにその住宅・建築への最適化技術の開発
  - (5) 次世代低公害車の開発・実用化促進
  - (6) 次世代内航船(スーパーエコシップ)の研究開発
  - (7) 洋上風力発電に係る研究
- etc.



# 既存住宅の省エネルギー性能向上支援技術に関する研究

5000万戸近く存在すると言われる既存住宅の省エネルギー性能向上を目標とする。断熱性能向上、給湯・暖冷房設備の省エネルギー化等に関する実効性評価情報の取得及び諸技術の設計最適化方法の開発、住宅実務者及び施主向けの情報の整備を行う。

実施期間：平成17年度～19年度 平成17年度予算 45百万円



# 地球温暖化対策に資するエネルギー地域自立型実証研究

平成15年度から、別海資源循環試験施設を活用し、バイオマスを水素エネルギーに変換、貯蔵し、CO2の削減を図るとともに、需要に応じた効率的なエネルギー利用を行うための実証研究を実施。

実施期間：平成15年度～17年度 平成17年度予算 運営費交付金1,760百万円の内数

